

「沼津・富士宮エリア事故対策懇談会」開催について

日頃より道路行政ならびに交通安全事業へのご理解ご協力を賜り、有難うございます。

国土交通省静岡国道事務所では、事故多発地点や事故危険箇所が集中していた国道1号沼津エリア、国道139号富士宮エリアについて、平成15年から学識経験者、交通管理者、道路管理者等のご協力のもと協議会を開催し、交通事故の現況分析、対策検討実施、合同現地点検による対策効果の確認や追加の対策検討を実施してきました。

このたび、沼津・富士宮エリアにおいて計画した対策が完了し、エリア事故対策の評価を行い、この取組みの効果を広くPRしていきたいと考えています。

つきましては、沼津・富士宮エリア協議会において、ご協力いただきました皆様に、5年間の取組みの評価結果について意見交換を行う「沼津・富士宮エリア事故対策懇談会」(メンバー別紙参照)を開催したいと思っております。

沼津・富士宮エリア事故対策懇談会メンバー

学識経験者	舟渡 悦夫	大同工業大学	教授
	西田 公昭	静岡県立大学	准教授
交通管理者	静岡県警察本部	交通規制課	課長
	静岡県沼津警察署		署長
	静岡県富士宮警察署		署長
道路管理者	静岡県土木部	道路保全室	室長
	沼津市	生活環境部	部長
	富士宮市	都市整備部	部長
	国土交通省	中部地方整備局	交通対策課 課長
	国土交通省	静岡国道事務所	所長

『エリア事故対策』で交通事故を削減

～交通事故が多い『エリア』に、重点的・集中的な交通事故対策を実施～

事故危険箇所*が集中している国道1号沼津と国道139号富士宮を『エリア』に選定。



沼津エリア対策後



富士宮エリア対策後



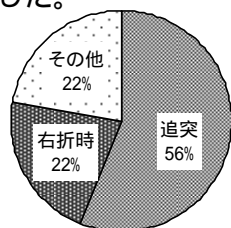
富士宮エリア 沼津エリア

*事故危険箇所: 幹線道路の平均事故率の5倍以上の箇所

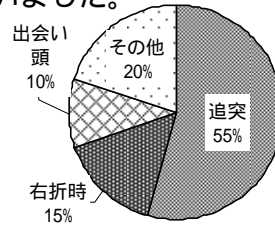
富士宮エリア・沼津エリアの交通事故状況

対策前の交通事故状況を分析。

国道1号 沼津エリア
「追突」「右折時」事故が多発していました。



国道139号 富士宮エリア
「追突」「右折時」「出会い頭」事故が多発していました。



主な事故要因

右折導線が不明瞭 無理な右折
前方不注意 スピード超過 など

(平成11～14年平均)

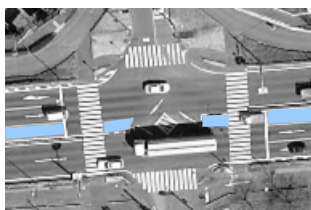
主な実施対策例

沼津・富士宮エリア内 19 交差点の「右折時」「追突」「出会い頭」事故に着目して、重点的・集中的に交通事故対策を実施しました。(平成14年～平成18年実施)

右折時事故対策例

右折導線の明確化

右折導流線のカラー舗装



右折待ち車両の停止位置をわかりやすくします

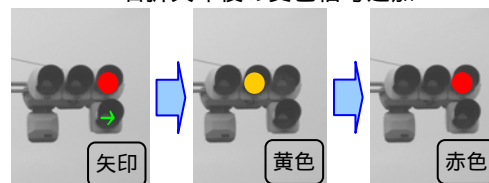
スムーズな右折

信号のセパレート化



対向する直進車が停車してから右折できるようにします。

右折矢印後の黄色信号追加



右折矢印消灯後の無理な進入をなくします。

(沼津エリア対策例)

追突事故対策例

信号機の明確化

信号灯器のLED化
信号を見やすくし、
早めの減速を促します。



スリップ防止 排水性舗装、カラー舗装
ブレーキによるスリップを防止します。

スピード抑制 ドットライン
狭くなっているように見せかけ、早めの減速を促します。

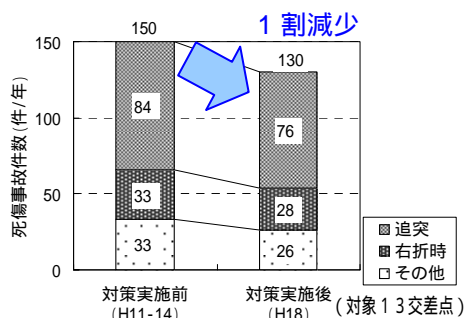
(富士宮エリア対策例)

対策効果

対策により、死傷事故件数が減少しました。

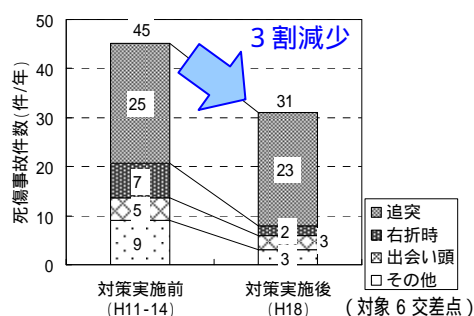
国道1号 沼津エリア

- ・対策を実施した箇所では事故が1割減少
- ・右折事故は1割減少
- ・追突事故は1割減少



国道139号 富士宮エリア

- ・対策を実施した箇所では事故が3割減少
- ・特に右折事故は4割減少
- ・追突事故は1割減少
- ・出会い頭事故は7割減少



安全な道路をめざして

ドライバーの皆様からも、下記のような意見をいただいています。

国道1号 沼津エリア

右折導流線のカラー舗装は夜間でも
はっきり分かってよいと思う。
以前に比べて走りやすくなった。

国道139号 富士宮エリア

カラー舗装は交差点位置が分かりやすくて
よいと思う。
右折レーンが大変分かりやすくなった。

事故対策の推進

これからも交通事故が多い区間で、重点的・集中的に対策を行っていく『エリア事故対策』を推進していきます。